

ラヂオきしわだ番組審議委員会第十八回議事録

開催日時 平成 26 年 4 月 18 日 14 時から 15 時

場所 ラヂオきしわだ事務局

ご出席委員	永谷裕久	ご欠席委員	片山智信
	近松健二		杉本昇
	西村静代		谷口真澄
	芦田有香		

放送局長 八木雄一郎 同席

事務局長 北野忠夫 同席

理事 片山陽子 同席

1.ご審議頂く番組

1)番組審議委員長の永谷裕久氏が開会を告げ、八木局長から、まず本日聞いて頂きご審議頂く二つの番組、「Mr.シンの魔法の時間」と「みんなでわやがや車座音楽隊」を紹介した。

○「Mr.シンの魔法の時間」は水曜日午後 9 時から 1 時間の番組で再放送を土曜日 23 時から行っており、プロのマジシャンで物まねタレントの Mr.シンがツッキーさんと、ゲストを招いておしゃべりをする番組であることを説明する。

○「みんなでわやがや車座音楽隊」はフォークソング好きの人達が集まって、自分たちの生演奏を交え、楽しく音楽談義をするという番組で、土曜日の午後 7 時からの 1 時間の番組であること、四角佳子さんと交流のある人たちで、四角さんにもご出演して頂いたことがあることなどを八木局長より説明をする。

上記の番組の内、「みんなでわやがや車座音楽隊」を例に挙げて、全体に言えることだがという注釈を付けて、永谷委員長、近松委員、西村委員から下記のようなご意見がでた。

*聞いている側を意識しないしゃべり方が多い、リスナーを意識しない仲間内の話が多い。

*笑いも身内の笑いとなっている。

*この番組という訳ではないがメールに対して「これ誰？」というような失礼な言い方をしている。

*メールやお便りを出したらおもしろいことが生まれるということをリスナーに判ってもらい、リスナーを引き込んで輪を広げて行こうという方向性がある。キャッチボールがあって番組が進んでいくという方向性が必要ではないか。

*DJ は向こうに相手がいることを意識しないといけない。一人語ではいけない。

*リスナーをどう広げていくかが今後の発展に繋がることで、出演者がそういう意識を

持ってやっているかどうかが問題である。

2) 永谷委員長より、ラヂオきしわだはコミュニティFM局のなかでは再放送が少ないFM局だと思うが、発展の方向としてリスナーを意識し大事にして、引き込むようにもっていくことが大事とのご意見であった。全番組が自主制作という事も評価された。

2.4月からの編成の説明

1) 4月は卒業、就職・キャリアアップなどで、人が替わって行く季節で、出演者の交代や時間の変更等があることを八木局長より説明した。また、吉本クリエイティブ・エイジェンシーの出演者に加わってもらう予定だが、なかなか決まらないことを説明する。

2) 午後10時からの番組を制作したいという要望があり、「ファントム」、「真夜中のcat's愛」などを放送し始めたが、10時以降の番組の制作を増やしたり、また他の時間帯の番組の再放送でこの時間帯が充実をしつつあることを八木局長より報告する。再放送をするということは出演している人達も喜んでいるし、励みにもなることをも報告する。

3.番組放送及び番組に対するご意見

1) 永谷委員長より、ホームページの出演者紹介のページで、出演者が写真つきで紹介されているとリスナーは興味がわくので、充実するようにとのご指摘があった。担当の片山理事より、前にもご指摘があり、早急に進めることを伝える。

2) 西村委員より、「唱歌」、「童謡」の番組があってもいいのではないかと。伝えていく文化ではないかとのご意見があった。これに対して、八木局長より、クラシック、演歌、ジャズ、ポップス、童謡唱歌などのジャンル別で「ラヂきし音楽の世界」という1時間のパッケージで、生放送のあとの深夜12時以降流していて、「童謡・唱歌」は毎日午前5時から流していることを説明する。聞いて頂く機会を増やすには、ジャンル別の時間帯が番組表で判るようにすればいいので考えると八木局長より返答をする。

3) 八木局長より、「午前10時からのこの指とまれ・岸和田を元気にする人々」について再放送が多いという指摘を受けるのですがという話について、永谷委員長より、リスナーは入れ替わっていくし、再放送でも新しいリスナーは新鮮な気持ちで聴いているのではないかとのご意見があった。

4.八木局長より番組以外の取り組みについて

1) 岸和田市の広報紙から「ミニ情報」という紙面が4月よりなくなっている。これは市民が様々な催し物をしたり、イベントをする情報を載せていたもので、市民の活動の情報源としてよく機能していたものである。発信をしていた各団体やサークル、グループ等も困っており、ラヂオきしわだとしても必要な情報と考え、市に替わって印刷物を作成し、市の広報紙と一緒に配布出来るように企画をしていることを八木局長より紹介した。紙面の制作は他の団体と、費用面はスポンサーになってくれそうな企業と交渉中であることも紹介した。

2) 催し物の情報に関して、浪切りホールから情報については、近松委員から4月で人が替わったのでまだだが、今後は情報をラヂオきしわだに提供できるとのお話であった。

次回の番組審議委員会を6月20日（金）14時から開催することを確認して閉会した。

以上